

2010.01
【第1号】



※ふるさとの会のメールマガジンをご愛読いただき、誠にありがとうございます。
今後もふるさとの会の活動内容を定期的に情報発信させていただきたいと存じます。

INDEX

1. 越年冬祭り
2. 東駒形荘 クリスマスパーティーに参加して
3. 研究成果報告会『精神障害者の自立支援と住居確保』
4. 全体研修報告
『糖尿病と結核の初期対応及び基礎的介護技術』

1.越年冬祭り

12月29日から1月3日までの6日間、隅田川テラスで毎年恒例の越年冬祭りが行われました。東京都によるいわゆる「公設派遣村」の影響があつてか、29日の炊き出しに並んだ方は今までに比べてかなり少ない人数でした。他方で、ボランティアの参加者数は過去最高でした。これは「公設派遣村」の宣伝効果があり様々な方が社会の出来事に強い関心を持ったためではないかと考える反面、今後の政府の対応が気になりました。

1月3日には大田区にあるなぎさ寮(越冬施設)を訪問しました。東京善意銀行友の会の皆さんによる演芸会がありました。毎年恒例のバナナのたたき売りなど若い世代の人がなかなか見ることできないものも行われ、沢山の方が参加されました。これを楽しみにして毎年来られる方もいるようです。また、なぎさ寮を出た後の生活や仕事の相談ができる窓口の案内も併せて配布しました。

最終日には、NPO法人訪問看護ステーションコスモスの看護師による健康相談がおこなわれました。血圧の測定やお薬の提供、その他健康面のサポートが行われました。

一時的な支援だけでなく長期的なサポート体制を考え、就労面の支援や生活保護申請のお手伝い等、様々なニーズにこたえていきたいと思えます。

(嶋田久美子)



炊出し風景



バナナの叩き売り



NPO法人訪問看護ステーションコスモスの看護師による健康相談

2.東駒形荘 クリスマスパーティーに参加して

墨田区東駒形にある東駒形荘は定員12名の高齢者向けの自立援助ホームです。利用者の多くは、日中の多くを屋内でのんびりと過ごしています。どうしてもお一人で外出したり人と接したりすることが少なくなりがちであるため、当会では定期的にイベントを開催しています。温泉旅行や動物園へ出かけるなど、時には非日常を楽しんでいただき、気持ちの張りを保っていただくような試みを続けています。その一環でもありますが、今回はクリスマスパーティーを開きました。

普段は居室での生活時間が多い利用者にとっては、リビングで他の皆さんと触れ合う良い機会でした。人と接することがちょっと苦手な方もいましたが、それでも普段は食べないお寿司やケーキを食べたりカラオケを歌ったりして楽しんでいるようでした。また、日ごろ生活のお手伝いをしているヘルパーさんやボランティアさんたちも参加してお互いを知る良い機会にもなりました。一年に一回のクリスマスを東駒形荘にいる皆さんが家族と同じような距離で楽しみ、祝い合う姿がまたこれからもずっと続けられるようにしていきたいと思いました。

今回は、普段あまり食べない焼きそばやお寿司がうまく飲み込めないような方も見受けられましたが、ヘルパーさんたちなどに見守られながら無事終わることができました。多くの人たちに支えられながらこうしたリクリエーションが開けることは素晴らしいことだと思いました。今回、利用者のほとんどは参加することができましたが、残念ながら体調不良などが原因で参加できないような方も数名いらっしゃいました。次回は一人でも多く元気に参加してもらえるように日ごろの健康管理をお手伝いしていきたいと思いました。

今回は東駒形荘の中でのイベントでしたが、近所で他に利用できる施設や娯楽がないかなど、もっと調べて一つでも多くの楽しみを造り出していただければいいなと思いました。この経験を活かして自分が日ごろ接している皆さんの生活が少しでも楽しいものになっていけるようアイデアを出していきたいと思いました。
(崔曙哲)



3.研究成果報告会『精神障害者の自立支援と住居確保』

12月17日、松戸市の聖徳大学において、精神障害者の住居確保研究報告会が行われ、ふるさとの会からは滝脇理事がパネリストとして参加しました。

シンポジウムは2部構成になっていて、第1部は千葉県内の取り組みを、第2部は県外各地での取り組みを発表する構成となっていました。

第1部では、国立精神・神経センター精神保健研究所の竹島氏より、住居確保の手引きを用いて、住宅確保の流れや社会資源とのネットワークを築くことなど、利用者が安心して暮らすことが出来るように、支援者が基本としてやっていかなければならないことを説明されました。また、千葉県は高齢者、障害者、児童の総合相談窓口として「中核地域生活支援センター」という独自の事業を展開していますが、「中核地域生活支援センターまつど ほっとねっと」の藤田氏は、実際に地域で暮らしている精神障害者の事例を用いて、生活サポートを入れることで安心して暮らすことが可能であることを説いていました。

NPO法人千葉精神保健福祉ネットの武井氏からは、

一時的に入居できる「地域生活体験事業」を利用して必要な関係機関とネットワークを築くことで、入院している重度障害者の方でも再び地域に戻ることができるという説明が事例を用いてありました。

第2部では、熊本市の医療法人健全会 明生病院の秋田氏より、実際に病院がアパートを借り上げて、病院のPSWと職員が生活の相談にあたっているという取り組みを発表されました。保証人がいない方の場合でも、最初は院長が保証人となって不動産会社と信頼関係を築いたことで、現在では保証人がいなくても入居できるようになったそうです。現在では、こうして不動産会社や社会資源と連携することにより退院を促進できているため、病院経営の向上にもつながっているとのことでした。

ふるさとの会の滝脇理事からは、これまでの取り組みを紹介しながら、路上生活者が住居を確保し、地域の社会サービス、資源を利用することで地域が活性化され、循環型社会を築くことにつながるという説明がありました。

一人20分という持ち時間のため限られた時間での講演でしたが、利用者が安心して地域で暮らすことにより地域の活性化にもつながることを、参加された皆様に知っていただけたのではないかと思います。

シンポジウムに参加して、それぞれ様々な取り組みをしていますが同じ方角を向いているように感じました。各地域での取り組みがしっかりと一つの形になる日が来ることを切に願います。

(佐藤 誠)



4.全体研修報告『糖尿病と結核の初期対応及び基礎的介護技術』

ふるさとへの会の宿泊所や自立援助ホームで生活する方の多くは高齢でかつ様々な疾病や障害を抱えています。そうした方々の日常生活を支援するためには初期対応能力と経験が必要となります。そのために私たちは約40項目の研修を受けることを必須とし、日々勉強しています。1月23日には糖尿病、結核、介護基礎の研修が行われました。

特に多いのが糖尿病のケースです。糖尿病は遺伝的素因に肥満や感染などの誘因が重なり発症するとも言われています。血糖値、種類、原因、症状、なりやすい条件、低血糖の兆候が出た時や低血糖が起きた時の初期対応、日常生活の注意点など学ばなければならないことは非常に多岐にわたります。

結核については、感染場所、検査、発病、治療、現場でのケアの対応を学びました。医師や看護師と連携をとって対応することが重要であるという説明や実際に感染者に接した場合には保健所から保健師に来てもらい対処したという事例報告がありました。糖尿病もそうですが結核も日常生活や生活環境が大きな原因の一つになっているのだと感じました。

高齢者の日常生活を支える上で介護技術の知識は必要不可欠です。中でも食事介助や排泄介助は高齢者の基礎体力を維持するうえで大切な技術であり、今回は特に嚥下について多く学びました。むせこみの原因、対応、予防、そして嚥下に適さない食品の基礎知識の説明がありました。また、排泄介助についてはオムツの交換方法などの紹介がありました。生活支援をするスタッフがヘルパーさんや医師などと連携することで高齢者の日常生活を支えていくことが可能だと思います。生活支援をする職員として利用者さんの容体が急変した時の初期対応や介護の基礎技術を習得しておくことは大変重要なことだと思いました。

(玉城)



NPOすまい・まちづくり支援機構
保健師 的場由木氏



有限会社ひまわり ヘルパーステーションふるさと
サービス提供責任者 松崎弘明氏

ケア研修日程表

	研修名	内容
1	生活保護	生活保護制度の基本知識・保護施設について・宿泊所について
2	ホームレス自立支援法	ホームレス自立支援法についての基本知識
3	対人援助論	対人援助論を実践的に理解する。
4	高齢者・認知症対応	高齢者に多い症状や身体機能の状態・認知症はどのような生活困難があるか
5	カンファレンス	カンファレンスの実際(どのような時期にどのように開催するか)

6	アセスメントの方法	必要な支援・サービスを考える視点
7	社会サービス機関との連携	社会サービス機関との連携・トラブルなど
8	刑事施設出所者	刑事施設出所者への理解と対応
9	応急処置	救命講習
10	救急搬送	救急車の呼び方
11	権利擁護	後見人制度についての基本知識
12	服薬管理	服薬管理の基本・服薬管理ミスをしないうために
13	体調不良時の対応	看護師・医師への連絡と対応
14	路上生活	路上生活の心身への影響
15	就労支援	就労支援の制度の活用・ケア付き就労の考え方について
16	アルコール依存・アディクション 薬物依存	アルコール対応の基本／薬物依存の実態
17		
18	多重債務	多重債務の整理についての基本知識
19	HIV	HIVの基本知識と理解
20	感染症対策	基本的な感染症対策・シラミ対策・疥癬対策・ノロウイルス対策
21	性の理解	セクシャルマイノリティの利用者への理解／セクシャルハラスメント
22	医療的ケアの範囲	医療的ケアについて
23	介護基礎知識	介護技術の基本・車いすの操作など
24	計測	体温のはかり方、血圧計の使い方など
25	対人援助論	対人援助論を実践的に理解する。
26		
27	知的障害・発達障害	知的障害・発達障害では、どのような生活困難があるか
28	金銭管理	金銭管理の基本・帳簿つけ
29	喫煙対応・防災	防災対策の基本・日常で気をつけること
30	人格障害	境界性パーソナリティ障害の理解と対応／自傷・リストカットへの対応
31	虐待暴力	虐待と暴力について考える
32	終末期のケア	終末期の理解とケア
33	統合失調症 不安神経症・うつ	統合失調症の理解／不安神経症やうつの基本的な理解と対応
34		
25	自殺のリスクと対応	自殺のリスクの高い利用者の理解と対応

障がい者自立支援法の申請手続き・利用できるサー

36	自立支援法	ビス
37	更生保護	更生保護の基礎知識・身元引き受けについて／保護観察官と保護司との連携
38 39	糖尿病／結核	糖尿病の基礎知識・日常生活の注意点など／結核の基礎知識・DOTSの理解
40 41	介護基礎② 食事／排泄	介護技術の基本(食事・排泄)
42	個人情報保護・守秘義務	個人情報保護法と守秘義務についての基礎知識
43	ケアとアート	ケアとアートについて／自己表現について／ギャラリー・カフェの役割と活用

発行元: 特定非営利活動法人 自立支援センターふるさとの会
〒111-0031 東京都台東区千束4-39-6
TEL: 03-3876-8150 FAX: 03-3876-7950
E-mail: hurusato@d5.dion.ne.jp
HTML: <http://www.d5.dion.ne.jp/~hurusato/>